一宮西高校同窓会報

＝発行＝
愛知県立
一宮西高等学校
同窓会

心豊かな日々を

同窓会長　山内　進

私共一回生が母校を卒業して今年で早20年となりました。しかし一宮西校同窓会報の発刊は、やっと今年で第3号であります。まだまだ同窓会活動も始まったばかりといっても過言ではありません。同窓会員の皆様方の御協力を切にお願いする次第であります。同窓会員最年長である私共一回生も今年で38才。まだまだ過去を振り返り感傷に耽る余裕等はあろうはずがなく、実社会の中堅又リーダーとして、日夜奮闘されていることと思います。

さて、現在我が国においては、昨年10月のG5ショック以来急激な円高に見舞われ、これからの我が国の進んで行く方向についての選択を強いられております。もはや、日本という国は、国内の都合、事情だけで動く事は許されない状況になって来ていると思います。地球的視野をもって対処していかなくてはなりません。ある有力企業の人事担当者の話がありますのでここに紹介します。「これからのリーダーは何も秀才の必要はない。私達は、何か頭でリーダーになろうとしすぎている。人を動かすのは感情である。人の痛さを自分の痛さに、自分の喜びを人の喜びとして、感じとらせられる豊かな感性のある人である。」これが企業で今求められているリーダーの最大要素であるということです。物質的な豊かさから、精神的な豊かさへ、さらに又昨今は、「感性の時代」とかいわれており、表現こそ様々ですが、「心」の時代に入っていると言う事は明白であります。どうか西校同窓会員の皆様におかれましては、心豊かな日々を過ごされ、それこそ地球的視野に立って物事を考え判断し、すばらしいリーダーとなられんことを深く念ずる次第であります。最後になりましたが、これから暑い季節を迎えるにあたり、御健康に留意され、ますます御活躍されん事を願いまして第3号発刊の挨拶とさせて頂きます。

転任の挨拶

校長　鶴田　功

今年の四月から、前任校の犬山南高校より転任いたしました。前任者の柘植校長先生同様よろしくお願いいたします。

外から西校をみていますと、進学校として、その名をとどろかせていますが、着任してみますと、内部的にはいくつかの大きな問題をかかえていることに驚いています。

まず第一の問題点は、今年で昼間定時制が廃止されるということです。本校の昼間定時制は昭和四十年四月、まだ本校が分校の当時に併設され、以後二十年間にわたり、地元産業界の支援のもとに勤労女子生徒の教育にあたってきました。

しかし、近年、産業構造の現代化にともない、企業が中学校卒の採用を中止し高校卒の採用が一般化したために、入学者が減少し、すでに三年前に新入生の募集を停止していました。今年度は、四年生が四十一名、教員は、教頭先生をはじめ五名が残っておりますが、それも明年の三月ですべて終りということになります。普通教室だけでなく、特別教室も定時用に独立して設置してありますので、明年度以後の利用計画の作成が急務となっています。

第二の問題点は、すでに新聞でご存知のように学校群が近々、廃止になるということであります。

廃止以後の募集方法については、大綱が発表になっているだけで、この地域の高校がどの組み合せになるかが決定していません。その点で、具体的に本校がどのような影響を受けるかは、明らかではありませんが、従来とは異った学校になることは予想されます。

この点についても、着任以来、多くの方々から、ご意見や、ご指導をいただいております。しかし、それを要約いたしますと「群廃止以後も極端な変動をきたすことを防げ」ということにつきるようです。自分の卒業した学校、つまり母校の地盤沈下を聞くのは、だれでも感じのよいものではありません。

本来、学校教育とは、生徒の学力を保証することはもちろんですが、人間としての成長を保証することも大切な務めとなっています。その点で、群廃止以後の本校のあり方を検討するに際しても、この両者の調和をはかる過程で、その道の探索にあたり、地域社会の信頼を得る方向で解決をしていきたいと考えております。その点で同窓会の皆様のご協力、ご支援を心からお願いするものであります。

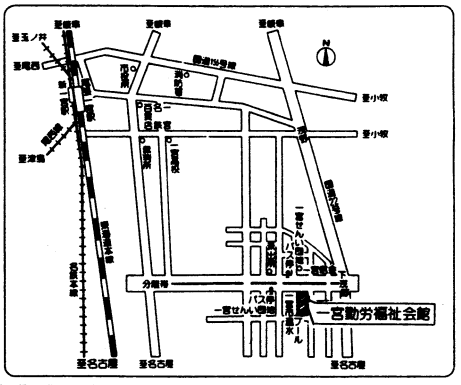
総会のお知らせ

同窓会総会を左記の要領で実施いたします。多数・御出席を心待ちにいたしております。

日時　八月十日(日)　午前十一時～
終了後、立食パーティー（会費二千円写真代込み）を準備しております。

場所　一宮勤労福祉会館小ホール

※なお準備の都合上、出欠席の葉書を七月末日迄にお出し下さるようお願いします。

※最後に今回出席予定の先生方の御氏名を三面に掲載させていただきました。

◆名鉄バス◆
尾張一宮駅前発九日市場行（名鉄百貨店経由）
又は一宮名鉄百貨店前発名鉄バスセンター行
（同百貨店北側乗車）
一宮せんい団地下車徒歩1分